

2022年6月30日

第15期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社 大井開発

貸借対照表

(2022年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	12,942,810	(負債の部)	2,467,760
流動資産	957,643	流動負債	366,246
現金及び預金	21,008	買掛金	1,003
売掛金	67,471	未払金	111,221
原材料	194	未払費用	43,708
貯蔵品	6,785	未払事業所税	12,870
前払費用	10,240	未払消費税等	52,696
短期貸付金	829,120	未払法人税等	2,290
未収法人税等	0	前受金	113,081
その他流動資産	22,823	預り金	2,368
		賞与引当金	27,005
固定資産	11,985,166		
有形固定資産	11,958,142		
建物	6,129,464	固定負債	2,101,514
建物附属設備	2,627,979	長期借入金	1,398,247
構築物	125,583	退職給付引当金	12,905
機械及び装置	2,459	役員退職慰労引当金	8,016
器具及び備品	229,258	預り保証金	682,345
土地	2,843,397		
無形固定資産	25,301	(純資産の部)	10,475,050
ソフトウェア	25,301	株主資本	10,475,050
施設利用権	0	資本金	100,000
		資本剰余金	5,245,230
投資その他の資産	1,722	資本準備金	25,000
長期前払費用	1,722	その他資本剰余金	5,220,230
		利益剰余金	5,129,819
		その他利益剰余金	5,129,819
		固定資産圧縮積立金	455
		繰越利益剰余金	5,129,364
合 計	12,942,810	合 計	12,942,810

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

商品	先入先出法
原材料	最終仕入原価法
貯蔵品	先入先出法

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定額法
無形固定資産	定額法

4. 引当金の計上基準

賞与引当金	従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
退職給付引当金	従業員の退職給付に備えるため、当社退職金支給規程に基づき、自己都合による期末退職金要支給額を計上しております。
役員退職慰労引当金	役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

控除対象外消費税等の会計処理	控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。
----------------	----------------------------------

6. 収益及び費用の計上基準

ホテル事業に係る収益認識	当社は、ビジネスホテルの運営を行っており、ホテルの宿泊利用サービスを提供する義務を負っております。当該履行義務はサービス提供が完了した一時点で充足されるものであり、完了時点において、収益を認識しております。
賃貸事業に係る収益認識	当社は、ショッピングセンターの運営、駐車場運営等を行っております。これら不動産の賃貸等による収益は、その契約期間に応じて賃貸収益を認識しております。

当期純損益金額

当期純利益 11,703千円